

## 第10回ワクチンチーム会合（全国市長会との意見交換）

### 《開催要領》

- ・開催日時：2021年12月27日（月） 17：30～17：50
- ・参加者：堀内 詔子 ワクチン接種推進担当大臣  
田畑 裕明 総務副大臣  
立谷 秀清 全国市長会会長  
吉田 信解 全国市長会社会文教委員会委員長

### 《議事概要》

#### （堀内大臣）

- ・市長会ははじめ自治体の皆様においては御尽力いただき、御礼申し上げます。
- ・12月17日、約3,100万人を対象とした、追加接種の接種間隔の前倒しについて具体的な考え方を示した。前倒しへの対応として、ワクチンの追加配分とその配送スケジュールもお示しした。
- ・モデルナ社のワクチンについて、有効性や安全性を示したリーフレットを作成。各自治体においては、リーフレットも活用し、モデルナ社ワクチンの接種を呼びかけていただきたい。
- ・忌憚ない意見交換を行い、追加接種に向けて、自治体と国の協力連携関係をより一層深めていきたい。

#### （立谷会長）

- ・ワクチン接種の前倒しの方針に合わせて、自治体として接種を開始できるまでには、3週間程度のタイムラグが生じる。
- ・64歳以下の一般の方の接種についても、感染状況に応じて、国にはフルスピードで進めていただきたい。
- ・国からの、どちらのワクチンを打っても大丈夫であるという強い発信が必要。国民の機運の醸成を、国は責任をもってお願いしたい。

#### （吉田市長）

- ・政府は、方針を言い切ることで、自治体において混乱が生じないようにしてほしい。

#### （堀内大臣）

- ・接種間隔については、医療従事者や高齢者施設の高齢者の接種について一定の完了が見込まれれば、一般の高齢者も7か月待たずに接種が可能。
- ・接種間隔の前倒しの対象を65歳以上にした理由は、自治体の準備状況・ワクチンの供給力・専門家のご意見等を総合的に勘案したため。

以上